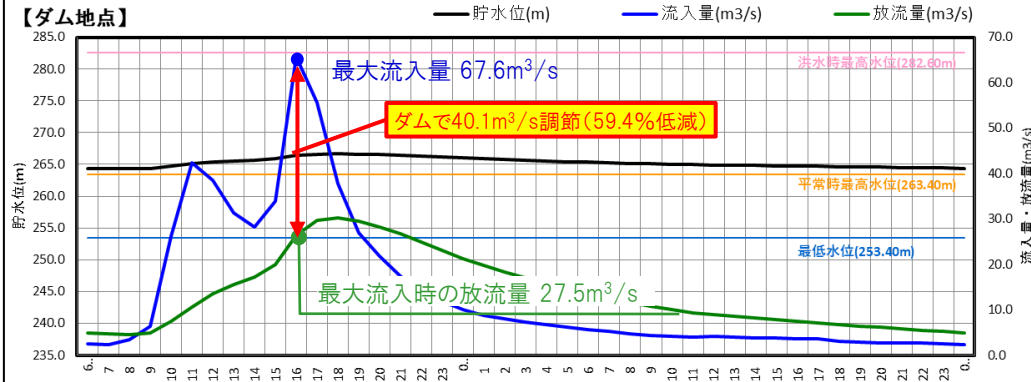
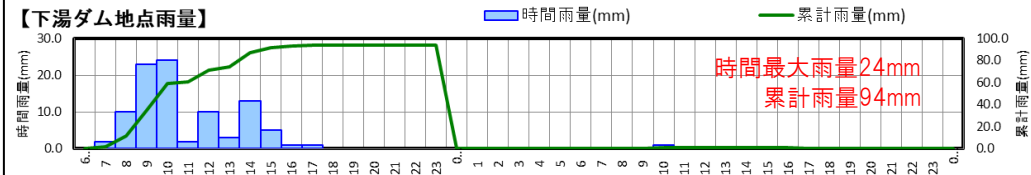


# 堤川水系 下湯ダムの効果(令和5年7月12日の梅雨前線による大雨)

青森県

- 下湯ダム流域では、令和5年7月12日から梅雨前線の影響により、ダム地点で累計雨量**94mm**を観測。
- ダムへの**最大流入量は67.6m<sup>3</sup>/s**を記録。洪水調節により**最大40.1m<sup>3</sup>/s(59.4%)**をダムに貯留し、下流河川の水位を低減。
- その結果、新妙見橋地点(青森市妙見付近)で、**約0.37mの水位を低減させる効果**があったものと推測。



## 新妙見橋地点の水位低減効果

